

NSFと欧州委員会、若手研究者を対象とした研究協力の実施に関する協定に合意

(7月13日)

米国科学財団 (National Science Foundation : NSF) のスブラ・スレシュ長官 (Subra Suresh) と欧州委員会 (European Commission : EC) のモイラ・ゲーガンクイン研究・イノベーション・科学担当委員 (Máire Geoghegan-Quinn) は13日、アイルランドの首都ダブリンで開催された欧州科学オープンフォーラム (European Science Open Forum) において、欧米の若手科学者による研究協力の実施に関する協定に署名した。

今回合意に至った協定は、NSFの「若手研究プログラム (Early Career Research Program)」から助成を受ける若手研究者やポスドクフェローに対し、欧州の若手研究者との人材交流や、研究に関する情報交換、永続的な研究協力の機会を提供することを目的として締結されたものである。

詳細については今後の発表が待たれるが、本協定に基づき、米国側の研究者はNSFから欧州への渡航費が支給され、欧州研究会議 (European Research Council : ERC) から助成を受ける欧州の研究チームの一員として研究する機会が与えられることになる。

National Science Foundation, National Science Foundation and European Commission  
Establish New Collaboration Opportunities for Early Career Scientists  
[http://www.nsf.gov/news/news\\_summ.jsp?cntn\\_id=124845](http://www.nsf.gov/news/news_summ.jsp?cntn_id=124845)